

GREEN RANGER NEWS

2019年8月号

Vol.309



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■7月の活動報告

【木工作業体験、草木染等】7月14日(日)

幻想的な霧の中、着く、外での作業は無理か。まずは映った動物たちを見る。アナグマ、2匹はいるな、キツネ、痩せて可哀想などと言いながら森の動物の生態を観察した。その後、色々な報告や子供たちの夏休み中行事について話し合い、次回の荒浜地区海岸防災林の成長調査準備も終える。

午後、「植林地成長樹木調査」について説明してもらう。原野だった彩遊の森と農地だったアナグマの森・リスの森との成長の違いが歴然と示され、同時に近年の成長の早さに驚かされた。

そして、いつものことながら枝打ち・間伐した木材の有効活用をどうするかに話が行く。色々な木工細工の案は出るのだがいまだ目的には遠い様なので、「コレを作る！」と一つに絞った。一方、草木染は素人目ながらすぐできそう。材料さえ準備しておけば、子供たちも安全に短時間で楽しめそうなのである。色の変化を楽しみながら、是非、夏休み遊びに来てオリジナルのハンカチやスカーフなど作ってみませんか？ 参加者：10名



【荒浜地区海岸防災林にて生育状況調査】7月28日(日)

前日までの梅雨空とは打って変わって、夏雲が湧く猛暑日となった。荒浜地区海岸防災林「彩遊の森」にて、昨年12月に植えた苗木300本の活着率と樹勢の調査、50本を選んで樹高を測った。また、植林木に絡みついたツルマメの除去を行った。

約100本植えたヤマハンノキは、海岸でもパイオニアプラントとしての力を発揮し遅く成長していた。その生命力に頭が下がる思いだった。樹勢が良かったのは、ヤマハンノキ、ハンノキ、オオバヤシャブシの3種類のみで、他の樹種は活着はしているが、枝枯れ、幹枯れ、葉枯れが著しかった。土壌養分の不足により、潮風に対応できる体力がないからと考えられる。将来的には根元から萌芽したものが幹として伸びていくと思われる。

地面は殆どがヤハズソウ(マメ科で根に根粒菌を持つ)で覆われており、その他、メヒシバ、ヨモギ、イヌビエ、ススキなどが入っていた。植被度は約90%と高く、予想以上だった。ヤナギ類も数多く侵入していた。30度を超える猛暑となり、長梅雨で体が熱さに慣れていないため何度も水分補給の休憩を取りながらの作業となった。参加者の皆さん、本当にお疲れ様でした！

※次回の予定は、9月8日に生育状況を再度確認することになっていましたが、12月8日に変更します。苗畑で育っているアベマキ30本を補植予定です。(参加者8名)



■8月の活動案内 ※11日と25日の内容が入れ替わりました。ご注意ください!!

[定例会]木工作業

開催日8月11日(日)午前10時

内容 木工用機材を使ってヤマハンノキ等の木工品作りに挑戦します
『クルミ入りガラガラ』も作る予定です

[親子野外活動教室]

★今年も柴田町の船迫生涯学習センター主催の親子行事を開催します

開催日 8月25日(日)午前9時40分～午後2時30分頃

集合時間 午前9時

内容 ・森で遊ぶ
・森の探検
・自然のものを使ったクラフト作り

■9月の活動案内

[定例会](仮称)小鳥の森の調査

開催日 9月8日(日)午前10時

内容 作業小屋付近(観察路に含まれていない箇所)の調査